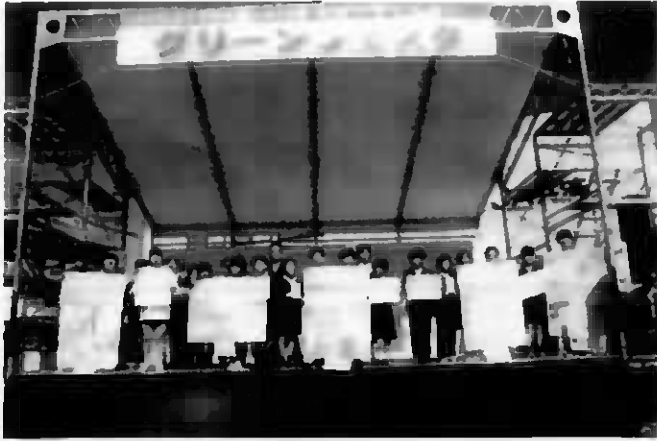


令和7年2月

令和6年 地区別組合員集会（懇談会）



出席者（正面、左から右へ）

原田地域営農経済センター長
大田三次地域統括長
友重理事
石田理事
小田中央支店長
下岡西支店長



 ひろしま農業協同組合

JA綱領

～ わたしたちJAのめざすもの ～

わたしたちは

- 1、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 1、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 1、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 1、自主、自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 1、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

— 次 第 —

1. 開 会

2. 挨拶

友重理事

3. 懇談事項

下岡西支店長が資料説明、～14:05

(1) JAひろしま令和6年度上期の事業計画進捗について・・・ 1～ 3

(2) 三次地域の取り組み状況について・・・・・・・・・・・・ 4～ 9

(3) その他・ 1～3ページがJAひろしま本部が地域懇談会

のために提供した資料で、4ページ以降は三次地域の活動方針

・ 10～13

4. 質疑応答

数名が質問した。

5. 閉会挨拶

コメの集荷実績は、計画が22万袋、実績は18万袋
前渡し金単価は8,500円、今後1千円を上積みする。

6. 閉 会

JAひろしま事業概況について

1. 経営理念

JAひろしまは、JA綱領に基づき「経営理念」として3つの項目を掲げています。

項目	内容
1. 持続可能な農業の実現	安全で安心な農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支えるJAを目指します。
2. 豊かで暮らしやすい地域社会の実現	総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かな暮らしやすい地域社会の実現に貢献するJAを目指します。
3. JA組織の基盤強化	次世代とともに「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として存立し、「持続可能な農業の実現」と「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」に向けて挑戦し続けるJAを目指します。

2. 組合員数（令和6年12月末現在）

組合員区分	人数
正組合員	71,749人
准組合員	110,546人
合計	182,295人

3. 出資金（令和6年12月末現在）

16,701百万円

4. 単体自己資本比率（国内基準適用）

令和6年9月末（見込み）	令和6年3月末
14.35%	14.36%

5. 令和6年12月末 仮決算状況

《貸借対照表》

(単位：百万円)

資 産		負債及び純資産	
科 目	金 額	科 目	金 額
信用事業資産	1,249,163	信用事業負債	1,258,232
共済事業資産	6	共済事業負債	4,568
経済事業資産	4,190	経済事業負債	2,440
雑資産	5,100	その他負債	11,674
固定資産	33,246	負債合計	1,276,916
外部出資	47,961	組員資本	62,683
その他資産	2,648	評価・換算差額等	2,717
		純資産合計	65,400
資産合計	1,342,317	負債及び純資産合計	1,342,317

《損益計算書》

(単位：千円)

科目	計画	実績	計画差額	計画対比
事業総利益	13,797,201	13,369,673	▲427,527	96.9%
うち信用事業総利益	7,303,263	6,937,888	▲365,374	95.0%
うち共済事業総利益	3,656,999	3,618,628	▲38,370	99.0%
うち購買事業総利益	1,255,467	1,150,608	▲104,858	91.6%
うち販売事業総利益	416,124	461,517	45,393	110.9%
うち保管事業総利益	91,589	78,620	▲12,968	85.8%
うち加工事業総利益	25,418	23,977	▲1,440	94.3%
うち利用事業総利益	801,605	705,768	▲95,836	88.0%
うち宅地等供給事業総利益	66,644	91,624	24,980	137.5%
うち介護福祉事業総利益	146,691	148,159	1,468	101.0%
うちその他事業総利益	252,112	298,947	46,835	118.5%
うち指導事業収支差額	▲218,711	▲146,066	72,644	66.8%
事業管理費	13,254,407	13,310,995	56,587	100.4%
事業利益	542,793	58,678	▲484,114	10.8%
経常利益	1,022,696	586,443	▲436,252	57.3%
税引前当期純利益	1,007,696	610,503	▲397,192	60.6%
当期剰余金	643,330	353,596	▲289,733	55.0%

本冊子における金額の表示で、単位を「千円」（または百万円）と表示している場合、表示単位未満の端数は切り捨て表示しています。なお、合計欄・差引欄等は、各欄の端数まで計算したもので同様の表示をしています。

6. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

種 類	令和6年12月末
貯金	1,247,126
貸出金	241,792
預け金	918,691
有価証券	79,530

※有価証券については、金融商品会計基準適用後の帳簿価額を記載しております。

7. 自己改革について（令和6年3月末）

J Aひろしまは、地域になくてはならないJ Aであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでいます。

J Aひろしま自己改革工程表（地域の活性化項目 数値編抜粋）

重点目標	成果指標・目標値			
	令和5年度		令和6年度	令和7年度
	目標	実績	目標	目標
支店協同化活動の拡充 (支店ふれあい委員会の設置)	65支店	79支店	91支店	91支店

J Aひろしま自己改革工程表（対話・意思反映項目 数値編抜粋）

項 目	令和5年度		令和6年度
	目 標	実 績	目 標
地区別総代集会（回数・出席人数）	9会場 350人	9会場 536人	9会場 450人
支店ふれあい委員会（回数・出席人数）	130会場 1,300人	65会場 548人	130会場 1,300人
組合員アンケート	正：2,600人 准：2,000人	正：1,731人 准：1,235人	実施予定なし
支店ふれあい活動（面談割合）	45%	34%	45%

令和6年度JAひろしま三次地域 自己改革への取り組み (令和6年12月)

合併2年目となる令和6年度は、「JAひろしま三次地域」として、引き続き①農業者の所得増大と農業生産の拡大、②地域の活性化、③健全な経営基盤の確立を基本に、令和6年度事業計画及び第9次地域営農振興計画（令和4年度～6年度）の中で具体化を図り「不断の自己改革」に取り組んでまいりました。

令和6年度の主な取り組みとして、米の契約栽培の拡充、提案型営農指導による振興作物の生産拡大、JAアグリ三次における継続的な担い手の育成、スマート農業の普及支援とドローン防除を始めとする農作業受託の実施等に取り組みました。

また、支店協同活動の継続的実践と総合事業を通じた組合員・利用者のくらしを支える事業を展開するとともに、役職員の意識改革・行動改革に取り組みました。



■ 農業者の所得増大と農業生産の拡大 (未来へつなぐ農業づくり)

主な取り組み実施内容

(1) 生産力・販売力の強化

●農畜産物の生産拡大

- ・経営モデルに応じた振興作物の生産基盤拡大（12月末実績）
- ・販売高 3000万円（白ネギ【実績4,564千円】計画対比108.7%
 - ・ホウレンソウ【実績4,728千円】計画対比140.7%
- 販売高 1000万円（ピーマン【実績6,011千円】計画対比82.9%
 - ・ズッキーニ【実績7,667千円】計画対比118%
 - ・エダマメ【実績4,362千円】計画対比62.3%
- ・機械化作物の作付推進
 - R6エダマメ生産者5件、作付面積6.1ha 播種、収穫、選果の機械化
- ・貸出機械の利用拡大（播種機、移植機ほか）
 - 実績貸出件数54件、利用面積5.3ha
- ・「みよし和牛」の産地化・ブランド化推進
 - 「みよし和牛」の販売（市内スーパーで販売実績6頭）
- ・耕畜連携、水田放牧の推進
 - 耕畜連携の推進100.8ha
 - 水田放牧45.9ha、資源循環54.7ha、わら利用0.2ha

●生産者組織の活動強化

- ・新規生産者の確保
 - 園芸作物24名 面積1.8ha、産直事業14名
- ・ニーズ別研修会の開催
 - 水稲栽培研修会22会場、185名
 - 産直品目別研修会12会場、81名
 - 女性部栽培研修会11会場、107名

●安心・安全な農畜産物づくりの推進

- ・環境に優しい農業の確立
 - 土壌診断の推進452点
- ・アスバラガス生産者3-Rブランド（全農耕畜連携）認証の申請57件
- ・生産履歴管理システムの活用（9品目）
 - アンジェレ、ナス、大麦、小麦、もち麦、丹波黒大豆、ピーマン
 - ズッキーニ、山芋



白ネギ栽培研修会



機械化作物の作付推進
(エダマメ)



三次産ナスのブランド化へ
ハーブルナス部会設立



水稲栽培研修会

●多様な販売方式の活用による販売強化

- ・なす規格外C品の出荷販売
- ・広島北部地域野菜集荷場と連携した「エダマメ」の共同選果の実施
出荷数量 5,561.2kg 販売高 4,362 千円

●売る米づくりの推進

- ・結びつきのある米づくりの継続実施
- ・需給に応じた計画生産の取組
- ・多収穫米による契約栽培の拡大
米の契約栽培の実践 5品種、50件、面積144.8ha 集荷数量20,193袋
品種：あきだわら 18件、にじのきらめき 23件、さとのつき 4件、
縁結び 4件、つきあかり 1件

●都市農村交流と地産地消の推進

- ・産直事業を核とした食材供給体制の構築
産直会員「学校給食出荷者協議会」の開催（16名）
学校給食登録会員 45名、販売高 1,173 千円

●農業者ニーズに応じた営農指導の展開

- ・提案型営農指導の展開
 - ・JAアグリ三次による儲かる農業モデルの実践
(モデル品目 アスパラガス、なす、白ネギ、シャインマスカット)
 - ・産直情報「ほんまかい農」の発行による栽培提案 発行回数 9回

●営農指導員の現場力強化

- ・JAアグリ三次を活用した現場力の向上（栽培技術実習 10回）
- ・他地域開催の研修会への参加、指導員交流
(水稲 2回、ナス 2回、白ネギ 1回)



多収米生産優績表彰



JAアグリ三次による
儲かる農業モデルの実践



営農指導員の現場力強化

(2) 担い手の育成・支援

●新規就農者の育成・確保

- ・JAアグリ三次による研修制度の充実強化
新規就農者研修の実践（1年生 3名、2年生 1名）
- ・研修システム運用開始（研修生 4名、研修先 1件）

●就農支援の充実強化

- ・就農検討会の開催 就農者 1名、6回
就農計画の作成、就農地整備についての検討

●集落法人・大型農家等の育成・支援

- ・集落法人グループ：枝豆収穫機の導入リレー運用の実施（5法人、6.1ha）
- ・担い手への訪問活動（延べ 86件）

●担い手間の共同活動の推進

- ・法人グループ経営診断研修会（35名）
- ・法人グループ機械ネットワークの継続実施（12件、22.8ha）
- ・三和地区集落法人協議会 WCS生産連携の取り組み（34ha）
収穫機械及び収穫作業連携実施

●多様な担い手の育成・支援

- ・自給的農家から販売農家
へのステップアップ支援
新規産直会員 14名（販売金額 1,359 千円）
- ・農業塾「第24期あすなろう塾」の開催（12名受講／累計 480名）

●女性農業者の育成

- ・女性部野菜研修会の開催
野菜づくり研修会 5会場、53名 秋播き野菜研修会 6会場、54名



新規就農者研修の実践



機械ネットワーク 麦播種機



農業塾の開講

(3) 農業経営全体のトータルコスト抑制

●ICT技術等を活用した省力・低コスト化の推進

- ・スマート農業技術の推進
 - 水稲リグ「ケコーティング」湛水直播栽培技術の実証
 - アイガモロボット除草実演会
 - ザルピオフィールドマネージャーAI 生育診断の活用（14 法人 59 圃場）
- ・省力・低コスト技術の普及拡大
 - エダマメ省力化技術の導入（播種、収穫、選果の機械化体系の確立）

●生産資材コストの削減

- ・土づくり肥料満車直送早期予約（17 件、フレコン 1,324 本）
- ・DMによる予約注文の取りまとめ
 - 水稲種子注文（配布件数：765 件）
 - 水稲肥料農薬注文（配布件数：2,334 件）



アイガモロボット除草実演会



エダマメ省力化技術の導入



水稲肥料農薬予約注文
DM取りまとめ

(4) 農業生産基盤及び農村環境の保全・地域の活性化

●鳥獣被害防止対策の強化

- ・貸出用監視カメラの導入による鳥獣捕獲支援
- ・鳥獣被害対策研修会への職員参加
 - 鳥獣被害対策アドバイザースキルアップ研修会
 - ICTを活用した鳥獣被害対策モデル事業研修会
- ・有害獣被害防止事業の実施
 - 助成金額：購入金額（税抜き）の10%
 - 12 月末 供給実績 22,234 千円 値引き金額 2,225 千円



鳥獣被害対策研修会



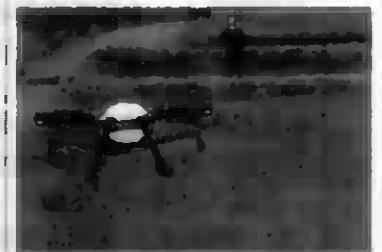
ラジコン草刈機による
草刈作業

●農地を守る仕組みづくり

- ・担い手カバー率 40.1% (R5 39.9%) 水田面積 4,199.7ha (R5 4,207.7ha)

●農作業をサポートする仕組みづくり

- ・「1日農業バイトデイワーク」マッチングアプリの運用開始
- ・農作業受委託の体制整備
 - ドローンによる水稲防除（延べ71件116.6ha）
 - ラジコン草刈機による草刈作業（7件1.1ha）
 - 稲刈り受託作業（12件3.6ha）



ドローンによる水稲防除

●関係機関との一体的な農業振興

- ・薬用作物等の産地づくり
 - 三次市薬用作物等栽培技術研究会・意見交換会（21名）
 - R6栽培実績（23名、セネガ10.6a、カコソウ4.1a）
- ・関係機関との連携強化
 - 農業施設の外部委託検討（育苗C、集約倉庫、RC）
- ・JAアグリ三次による農業経営の実践
 - 12 月末 販売金額 11,267 千円（計画対比 115.6%）



薬用作物等の産地づくり

■ 地域の活性化と豊かなくらしの実現 (地域のくらしを支える絆づくり)

主な取り組み実施内容

(1) 地域に根ざした情報発信力の強化

●次世代を対象とした食農教育の実践

- ・全支店で「ちゃぐりんキッズクラブ」実施 (20会場 延べ参加児童・支援者数 1,946名)、女性部フレッシュミズ部会での農業体験 56名
- ・管内小学校3年生へ雑誌「ちゃぐりん」の無償配布 (346冊/月)

●地域に密着した情報発信力の強化

- ・広報誌「もっと!」Aひろしま (三次地域版) の発行 (毎月)
- ・支店だよりの全支店発行 (全支店 延べ61回発行)



ちゃぐりんキッズクラブの
実施

(2) 総合事業を通じたくらしのサポート

●組合員・利用者ニーズに対応した事業展開

- ・住宅ローン新規実行 (実行額 6億 5,650万円)
- ・3Q訪問活動の実践 (13,861人)
- ・共済事務ペーパーレス化 (長期共済 99.1%、自動車共済 98.3%)
- ・LPC (ライフプランコンサルタント) の配置 (三次中央支店へ1名)
資産運用にかかる相談・投資信託の契約手続きなど
(取扱いは三次中央支店のみ)
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の継続 (月平均利用者 17.1人)



LPCの配置

(3) 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

●組合員との対話による意思反映

- ・地区別総代集会の開催 (78名、出席率 81.3%)
- ・ふれあい活動による対話 (平均訪問件数 8,217件/月、平均面談率 34.9%)

●イベント活動等を通じた参加・参画の促進

- ・三次地域ふるさと祭 (11/9、出店者 34団体、来場者約 2,000人)
- ・かべ新聞コンクール (11/9、5校から 15作品)
- ・サッカー大会 (8/3、5チーム 65名)
- ・親子体験型イベント等の開催 (11/9 ハーバリウム体験講座、16組 32名)

●小さな協同づくりの推進

- ・女性組織活動体験発表、家の光記事活用体験発表への参加
- ・広報誌の記事に毎月マークを掲載し、SDGsの取り組みについて情報発信



ジュニアサッカー大会



広報誌へ SDGs マークの掲載

(4) 地域の拠り所となる店舗づくり

●地域特性を反映した支店行動計画の策定と実践

- ・全支店での支店行動計画の策定・実践
来店感謝デー等の実施 (延べ 124回)
- ・J Aグループ支店協同活動コンクールで作木支店優秀賞受賞



来店感謝デーの実施

■ 自己改革の実践を支える健全な経営基盤の確立（組合員の期待に応えるJAづくり）

主な取り組み実施内容

(1) 自己改革を支える経営基盤の強化

●JA自己改革実践サイクルの取り組み

- ・自己改革工程表の策定と進捗管理
- ・地区別総代集会で取り組み状況報告



地区別総代集会で
自己改革取り組み状況報告

●財務の健全化

- ・業務委託方式による小水力発電施設の更新
- ・投資計画に基づく計画的投資と修繕



小水力発電施設

(2) 協同組合としての役割発揮を支える人づくり

●専門能力向上への取り組み強化

- ・業務必須資格等の取得奨励（証券外務員、共済審査員等）
- ・継続的な研修実施による職員のスキルアップ



研修実施による職員の
スキルアップ

●働きやすい職場づくり

- ・メンタルヘルス対策の強化
- ・ストレスチェックの実施

●地域活動等への積極的参加

- ・1職員1協同活動の実践（消防団活動など）



地域行事への積極参加

(3) ガバナンス・内部統制の確立

●コンプライアンス態勢の強化

- ・連続職場離脱の実施（実施率100%）
- ・役員によるコンプライアンス研修の実施（全事業所）

●子会社管理規程に基づく適正な管理

- ・子会社等の経営状況の理事会報告



コンプライアンス研修の実施

